

令和6年度 第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立川通中学校

1 日 時 令和6年11月13日(水) 13:15~14:45

2 場 所 川通中学校会議室

3 出席者	会 長	1	平田 あつし	東岩槻連合自治会顧問
	委 員	2	三次 宣夫	川通地区自治会連合会長・増長自治会長
	委 員	3	木下 由美	川通中学校 チャレンジスクール実行委員長
	委 員	4	安藤 孝吏	ふれあいプラザいわつき館長
	委 員	5	田中 久美子	バンビ保育園園長
	委 員	6	六沢 純光	慈眼山常源寺住職
	委 員	7	葉抱 敬介	川通小学校 校長
	委 員	8	堀 麻美	川通中学校 PTA顧問
	委 員	10	鈴木 純	川通中学校 校長
	委 員	11	山口 祐貴子	川通中学校 教頭
	委 員	12	岩本 守広	川通中学校 教務主任
	委 員	13	春山 悟	川通中学校 学校地域連携コーディネーター

鈴木 寿武 (生徒指導主任)
 森田 洋子 (教育相談主任)
 田口 祐子 (さわやか相談員)

欠席者

1	渡邊 美佐子	民生児童委員
2	輪島 泉	主任児童委員
3	牧内 香里	川通中学校 PTA会長

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 学校の現況報告

①令和6年度学校教育活動の様子について (教頭)

②生徒指導及び教育相談について (生徒指導主任・教育相談主任・さわやか相談員)

③「学校安全」研究について (教頭)

1年生徒発表 <交通安全>

2年生徒発表 <災害安全>

3年生徒発表 <災害安全>

4組生徒発表 <災害安全>

5 熟議「令和6年度 地域一体型の学校安全（災害安全・交通安全）について」

【主な意見】

<生徒の発表を受けて>

- ・書面だけではなく、生徒の発表があり、実際にどのような取組をしているのか生徒がどのようなことを考えたのかが分かり、とても分かりやすかった。
- ・交通や災害など、上里地区と川通地区とでカラーが違うと感じた。自分が住んでいる地区と違うところを考える、知ることで新たな発見がある。実際には、災害や事故などは夜に起こることもあり、危険箇所等、夜に見たらどうなるかと考えると新たな視点がみえてくるかもしれない。
- ・この地域もお年寄りが増えてきている。戦力となるのは、中学生。今回の発表を聞いて、中学生の目線で気付いたことなどを地域に発信してもらえたら、大人の視点では気付かなかった新しいことに気付くことができるかもしれない。
- ・1年、2年、3年、4組の発表を見て、学習の積み上げを感じ、素晴らしい取組だと感じた。お年寄りにとって、中学生の力は助けになる。今後も、継続して積み上げていってほしい。
- ・1年生がフィールドワークで自治会訪問に来た。地元を知るという素晴らしい取組である。いずれ、地域に戻って住みたくなるまちづくりを地域全体でしていかなければならない。中学校でもそういった郷土愛を育むために、継続的にフィールドワークを実施していってほしい。

<災害安全について>

- ・避難所運営訓練に中学生を参加させられるとよい。
- ・今年度の避難所運営委員会は先日終わってしまったが、さきほどの生徒の発表を聞いて、連携できればよかったと思った。
- ・防災フェアのチラシが、上里小でも配られた。川通中学校の地域全体で実施しようとしている姿勢が素晴らしい。小学生は消防車などに興味を持っているため、雨天時のプログラムをもう少し工夫できていたら、参加者ももう少し増えたかもしれない。
- ・生徒の発表の様子や取組の写真や映像など、防災フェアの日に掲示したり、映像を流したりするとさらに地域に広がるのではないかな。

<交通安全について>

- ・川通中学区は細長いため、自転車通学となっている。生徒の発表の危険箇所をみて、何かあったら声をかけてあげたほうが良いなと思った。今まで以上に交通ルールを守らせていきたい。
- ・手押しの交差点で中高生がぶつかる事故も起きている。危険箇所を知ることは大事。
- ・今後の川通地区の工事によって、トラック等の交通量がさらに増えることが予想される。子どもたちの登下校がさらに心配になる。交通事故を防ぐためには、学校だけではなく、地域で取り組む必要がある。
- ・川通中地区の工事について、通学路等子どもたちの登下校に十分配慮するよう要望している。

6 諸連絡 (次回以降の予定)

第3回 2月28日(金) 13:40~14:50 (会議前に学校給食試食会予定)